

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	人権擁護委員活動事業			730209	担当課	人権推進室			
	開始年度	平成28(2016)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	眞下 誠		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料		118	頁		
	施策の大綱	人権・平和の尊重			関連計画等	第3次福知山市人権施策推進計画				
	施策名	人権教育・人権啓発を推進する			根拠法令等	なし				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市、綾部市の人権擁護委員で組織されている福知山市人権擁護委員協議会の活動について、福知山市、綾部市の2市で支援を行う。								
	対象者	全市民		対象者数	78,943		一人当たりコスト	0.03		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	・福知山市人権擁護委員協議会(福知山市19名、綾部市8名)の活動支援 人権相談、街頭啓発 ・人権の花運動推進事業 法務省の人権啓発活動地方委託事業として、市内の幼稚園・保育園・小学校4(園・校)において、京都府の人権の花である水仙の植え付けと人権教室を開催し啓発を行う。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容				H29経費		
		需用費、役務費		球根、プランター、培養土の購入費				208		
負担金補助及び交付金		人権擁護委員協議会負担金				520				
関連事業										
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		807	802	760				
		補正予算等・・・②		0	△ 1	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		559	593	520				
		国支出金		248	208	240				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称 (H29実績)	人権啓発活動委託金			208	国補助金	20	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.24/0	0.29/0	0.29/0				
概算人件費・・・④		1,920	2,320	2,320						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,727	3,121	3,080					
執行状況	執行額・・・⑥			714	728					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			88.5%	90.9%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標			
		人権の花運動参加者	人	200 / 200	310 / 200	/ 200	200			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標			
		人権相談実施回数	回	52 / 52	52 / 52	/ 52	52			
			単位あたりコスト	13.7	14.0					
		人権の花運動実施箇所数	箇所	4 / 4	4 / 4	/ 4	4			
	単位あたりコスト	178.5	182.0							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	人権擁護委員制度が円滑に運用されるための支援は継続していく必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	必要最小限の経費で実施できている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	市民に向けた人権啓発や人権問題に関わる相談先として、活動されている人権擁護委員の支援に資することができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の花運動については、今年度は上豊富小学校、天津小学校、細見小学校、聖マリア幼稚園の4校・園で実施した。人権擁護委員とともに、京都府の人権の花である水仙の植え付けと人権教室を実施した。子ども達が命の大切さや、相手への思いやりについて学ぶ機会をつくられた。</li> <li>・人権相談については定例相談日を設定し、人権擁護委員が主体となり相談対応を行っている。</li> <li>・平成29年度については、地域人権啓発活動活性化事業に位置付けて実施した12月の人権を考える市民の集いにおいて、人権擁護委員の活動報告を行った。</li> </ul>	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員制度に基づいて活動支援を継続していく。</li> </ul>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権相談について、人権擁護委員の性格に照らして無償としているが、それで本当によいのか、適切と言えるか？ →日当、交通費の支給(実費弁償)を検討すること</li> <li>・相談件数が少ない(年間41件/H29)ことの原因を明確にしつつ、開催方法等を見直すこと、有効活用すること</li> <li>・市負担金のみという財政構造について、市の一存で決められるものではないことを踏まえつつも、見直すべき(実施事業及びその期待効果も含む)</li> <li>・必要な活動であるので、関係機関・協議会と見直しをする必要があると思われる</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	教育集会所改修事業			730237	担当課	人権推進室	
	開始年度	昭和63(1988)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	眞下 誠		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	250	頁	
	施策の大綱	人権・平和の尊重			関連計画等	福知山市人権施策推進計画		
	施策名	人権教育・人権啓発を推進する			根拠法令等	なし		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	老朽化により雨漏り等が発生している施設の改修を行い、施設の長寿命化と利用者の安全の確保を図る						
	対象者	市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.12		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	○金屋ふれあいセンター外壁、屋根改修工事 ○金屋ふれあいセンター管理事務室エアコン改修工事 ◆平成30年度から人権推進室：人権ふれあいセンター等改修事業に統合						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容			H29経費	
		工事請負費		工事請負費			7,585	
関連事業								
予算と執行の状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		13,400	8,700	0		
		補正予算等・・・②		△ 227	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		13,173	0	0		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	8,700	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)	教育集会所改修事業(過疎対策)			7,500	市債	52
								頁
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.08 / 0	0.05 / 0	/ 0	/		
	概算人件費・・・④		640	400	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			13,813	9,100	0			
執行状況	執行額・・・⑥		10,871	7,585				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		82.5%	87.2%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標	
		教育集会所の利用者数	人	35,508 / 35,000	37,391 / 35,000	/	35000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標	
		教育集会所工事箇所数	箇所	2 / 2	2 / 1	/	各年度工事必要箇所数	
		単位あたりコスト		5,435.5	3,792.5			
			/	/	/			
			0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・施設の利用や運営に支障をきたしており市民の使用につなげるため必要が事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・入札により業者を選定しており、コスト削減をしている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・改修を行うことにより、施設を適正に運営し、市民が施設を安全・安心に使うことができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	改修を行うことにより利用者が安心して施設を利用することができ、また施設の長寿命化を図ることができた。	
	今後の課題及び方向性	築30年を経過した教育集会所が多く、老朽化による施設の修繕・改修経費が増加している中、各教育集会所の特徴や地元住民の意向を十分考慮した上で、関係部署と連携し、公共施設マネジメント実施計画に基づき、今後の人権施設のあり方を検討していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の意向を確認し、蜜に調整しながら、できる限り譲渡ができるよう前に進めてください。</li> <li>・棚卸しの中で使用料をとることに対する意見も出ていたが、施設の最優先の事項は多くの方に使用いただくことであり、使用料をとることによって利用者数が減るような状況になっては意味ない。従って、より多くの方に使用いただく方法を検討いただき、現状どおり継続して行っていただきたい。</li> <li>・各教育集会所が市の施設として存在しているうちは、条例の範囲内で住民交流の場として積極的に使用してもらえよう工夫してほしい。</li> <li>・避難所に指定されている施設もあるなか、改修の修繕順位を考えたいうえで今後も維持管理を続けていただきたいと思います。</li> <li>・各教育集会所の存続については、公共施設マネジメント実施計画に基づいて、議論を置き去りにせず、地元との協議を続けていただきたいと思います。</li> <li>・地域に根ざした施設の性格から、地域外の利用が少なく稼働率も低いため、引き続き地域課題に応じた人権啓発活動を実施するとともに、施設利用者数や稼働率を上げるための工夫を考えてもらいたい。</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>		
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	